



# Cisco ISR 1100 および ISR 1100X シリーズ ルータ の取り付けと接続

この章では、Cisco ISR 1100 および ISR 1100X シリーズルータ の取り付け方法および接続方法について説明します。

- [ルータの開梱 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco ISR 1100 および ISR 1100X シリーズルータ のインストール \(1 ページ\)](#)
- [Cisco ISR 1100 および ISR 1100X シリーズルータの接続 \(10 ページ\)](#)

## ルータの開梱

ルータを設置する準備が整うまで、ルータは開梱しないでください。最終的な設置場所の準備ができていない場合は、損傷を防ぐために、輸送用コンテナにシャーシを保持します。

注文したルータ、アクセサリキット、マニュアル、およびオプションの機器によっては、複数の箱で納品されることがあります。開梱するときは、納品書を確認して、リストのアイテムがすべて送付されていることを確認します。

## Cisco ISR 1100 および ISR 1100X シリーズルータ のインストール

Cisco ISR 1100 および ISR 1100X シリーズルータ の場合、次のようにインストールできます。

- [デスク上またはシェルフ上へのルータの取り付け \(2 ページ\)](#)
- [壁面へのルータの取り付け \(3 ページ\)](#)
- [ラックトレイへのルータの取り付け \(6 ページ\)](#)

**警告** ステートメント 1074

装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

**警告** ステートメント 1005 : 回路ブレーカー

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。感電または火災のリスクを軽減するため、保護対象の装置は次の定格を超えないようにします。

20 A

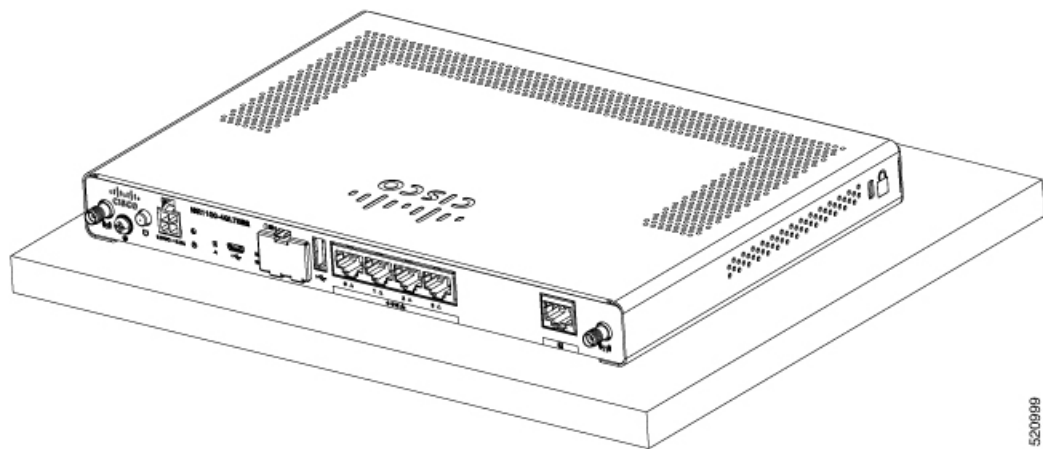
**警告** この製品はクラス 1 レーザー製品です。

## デスク上またはシェルフ上へのルータの取り付け

シャーシをデスク上に水平に置くことにより、デスクトップにマウントできます。シャーシの上方 2.5 cm（1 インチ）以内や、両側面から 1.3 cm（0.5 インチ）以内に、冷却の妨げになる遮蔽物や障害物がないようにしてください。

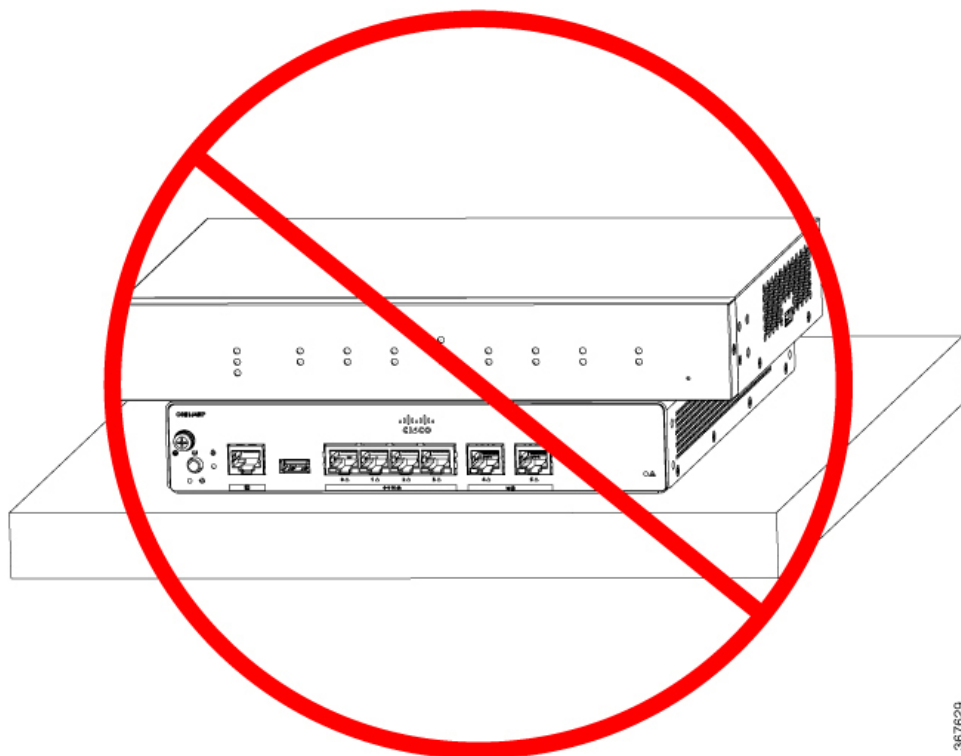
ルータの下部には、ルータと接地面を保護する 4 つのゴム製の脚があります。シャーシに付属のゴム脚を取り外さないでください。それらは、適切な冷却のために必要です。

図 1: デスク上またはシェルフ上への取り付け





- (注) ルータを積み重ねないようにします。



367629

## 壁面へのルータの取り付け

壁面取り付け用に設計された Cisco ISR 1100 および ISR 1100X シリーズ ルータには、シャーシの底面に、ネジまたはアンカーで垂直な表面に固定するための取り付け穴があります。シャーシの底面に「UP」のマークがある注意してください。これは、ルータを取り付ける正しい向きを示しています。



- (注) 壁面への設置手順をよく読んでから、設置を開始してください。適切なハードウェアを使用しなかった場合、または、正しい手順に従わなかった場合は、人体に危険が及んだり、システムが破損したりする可能性があります。ステートメント 1094

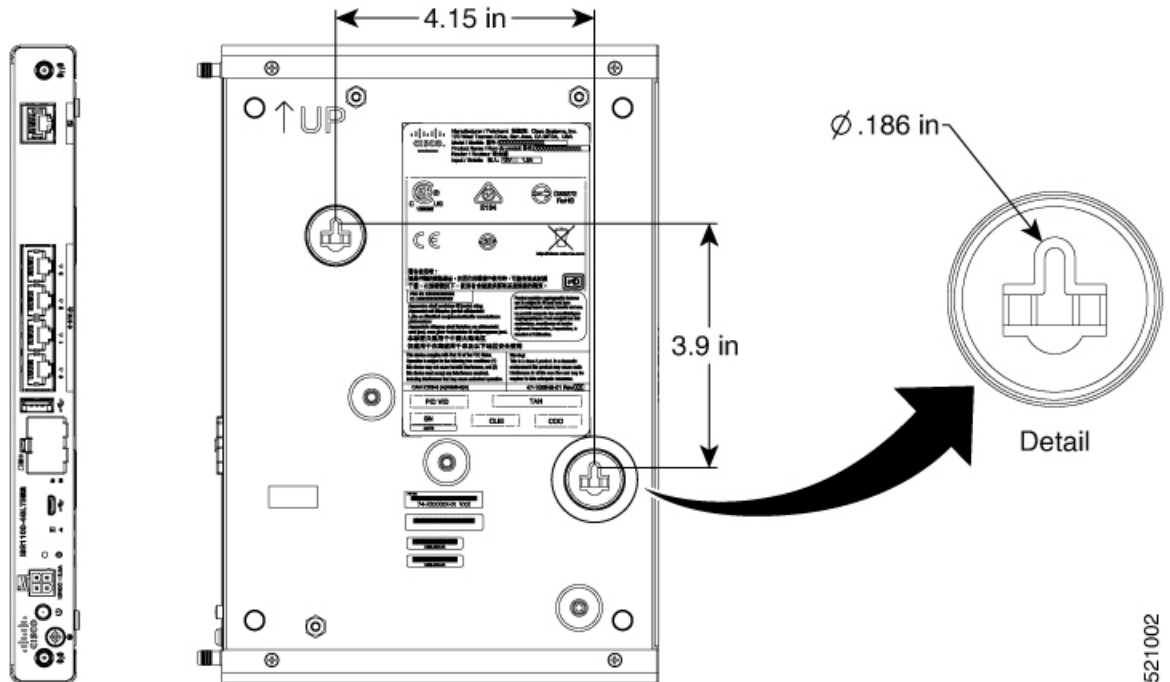


- (注) 安全上の理由から、壁面取り付けの向きは、下記の手順3に示されているものだけがサポートされています。取り付けスロットは、この向きだけをサポートしています。ルータの底面には、正しい向きを示すマークがあります（手順1を参照）。

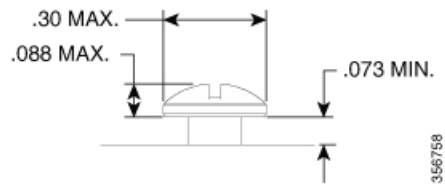
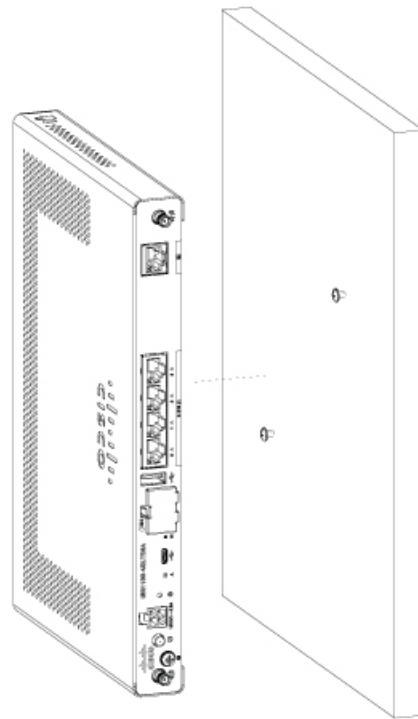


(注) 壁面取り付けの場所が決まったら、ケーブルの限界と壁面の構造を考慮してください。

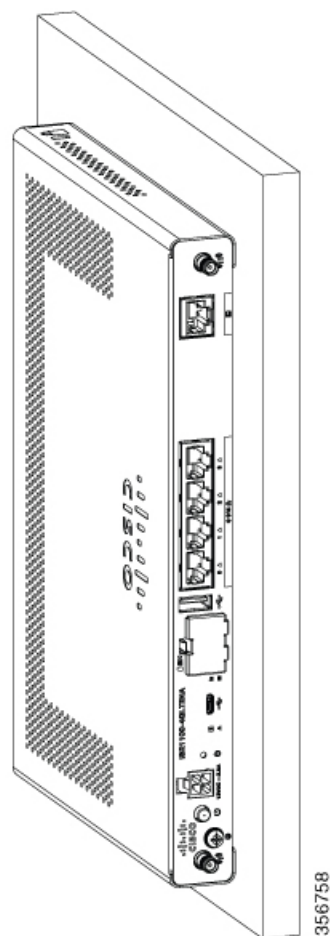
1. ルータの取り付け穴の位置に基づいて、壁に穴を開ける位置を決定します。次の図に、ルータ底面の壁面取り付け穴を示します。



2. ルータの取り付け穴に対応した壁面の正しい位置に穴を開けます。
3. 壁の材質に応じて、ネジを挿入します（必要に応じてアンカーを使用）。ルータの取り付け穴に適合するネジを使用してください。ルータを壁面に固定するには、ネジ頭と壁面の間を 1.9 mm (0.073 インチ) 以上離す必要があります。



4. 壁側に強く押し付けないようにして、ルータをネジに掛けます。



## ラックトレイへのルータの取り付け

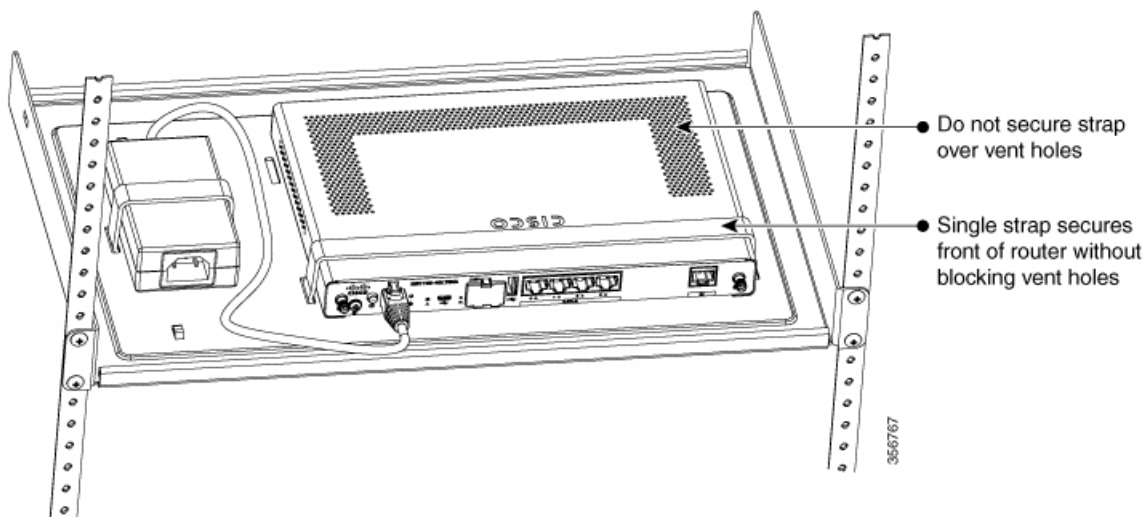
Cisco ISR 1100 および ISR 1100X シリーズルータは、これらのデバイス専用設計された装置ラックトレイ（製品 ACS-1100-RM1-19）に取り付けることができます。ルータは、次の2つの方法でラックトレイに固定できます。

- ストラップを使用してルータおよび外部電源モジュールを固定します。
- 取り付けネジを使用してルータを固定し、ストラップを使用して外部電源モジュールを固定します。

ルータは、ポートのある前面パネルをラックトレイの前面または背面に向けて取り付けることができます。

### ストラップによるルータおよび電源モジュールの固定

1. 次の図に示すように、ルータと外部電源モジュールをラックトレイに配置します。ルータは、ポートのある前面パネルをトレイの前面または背面に向けて取り付けることができます。



2. 図のように、ラックトレイに付属のストラップを使用して、外部電源モジュールおよびルータシャーシを固定します。

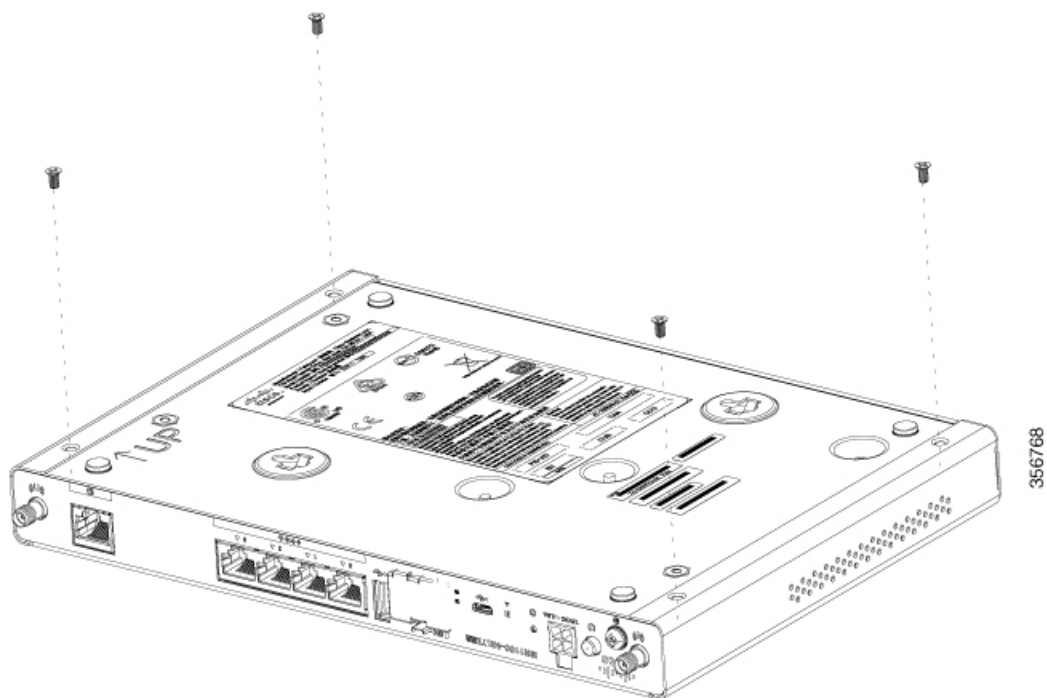
シャーシは、ストラップを1本だけ使用して固定します。ストラップで通気穴をふさがないようにしてください。通気穴をふさぐと、空気の流れに影響し、ルータの冷却が妨げられる可能性があります。

3. プラスチック製の結束バンドを使用して余分な長さの電源ケーブルを束ね、トレイの左側（電源モジュールの位置の近く）にあるブリッジランス接続ポイントを1つ使用してケーブルをトレイに固定します。

### 取り付けネジによるルータの固定

1. ルータの底面にある、ルータのカバーを固定している4本のネジを外します。

## ラックトレイへのルータの取り付け

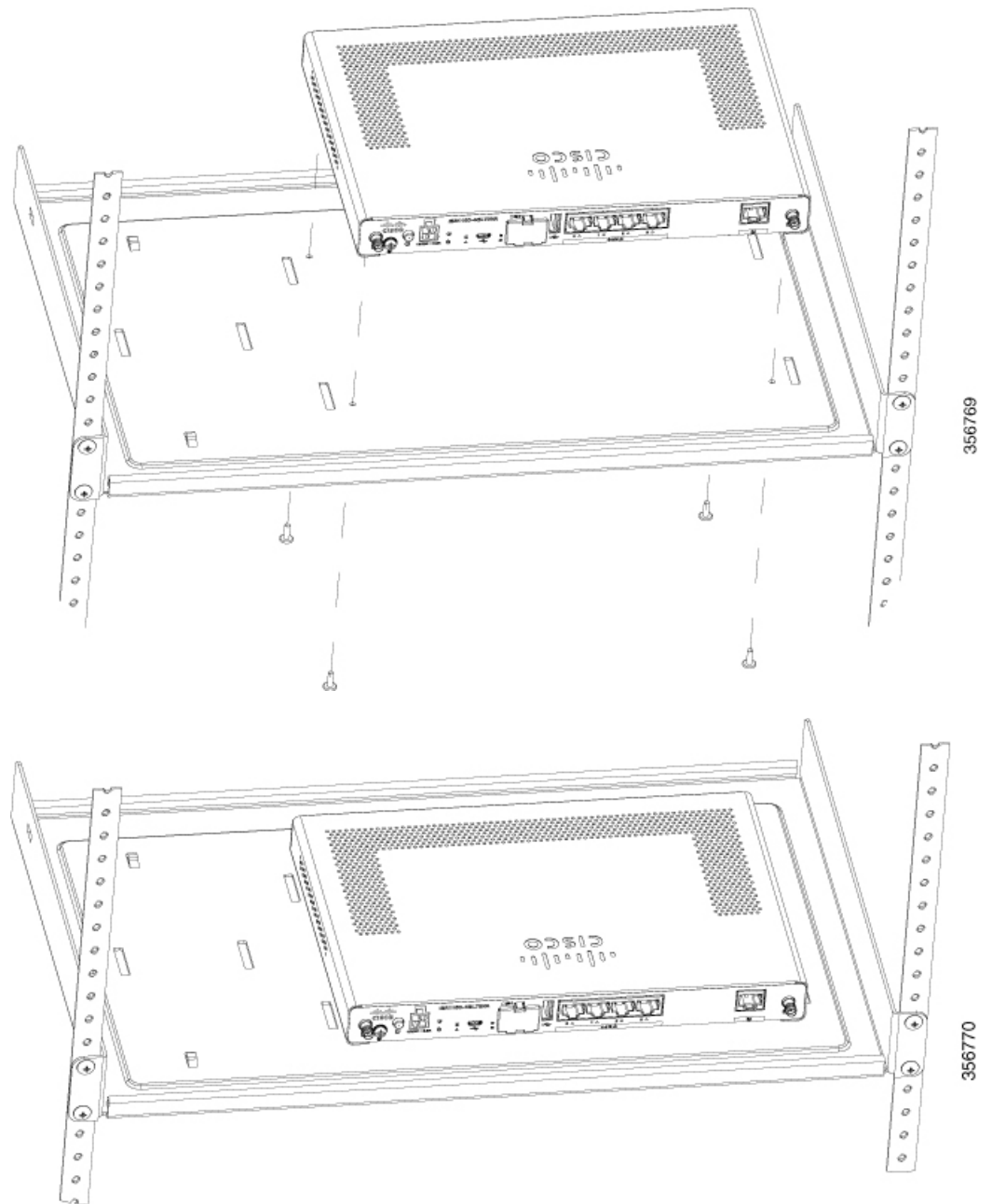


- ラックトレイキットのM3取り付けネジを使用して、ルータをラックトレイに固定します。5～6.8インチポンドのトルクで締めます。ルータは、ポートのある前面パネルをトレイの前面または背面に向けて取り付けすることができます。

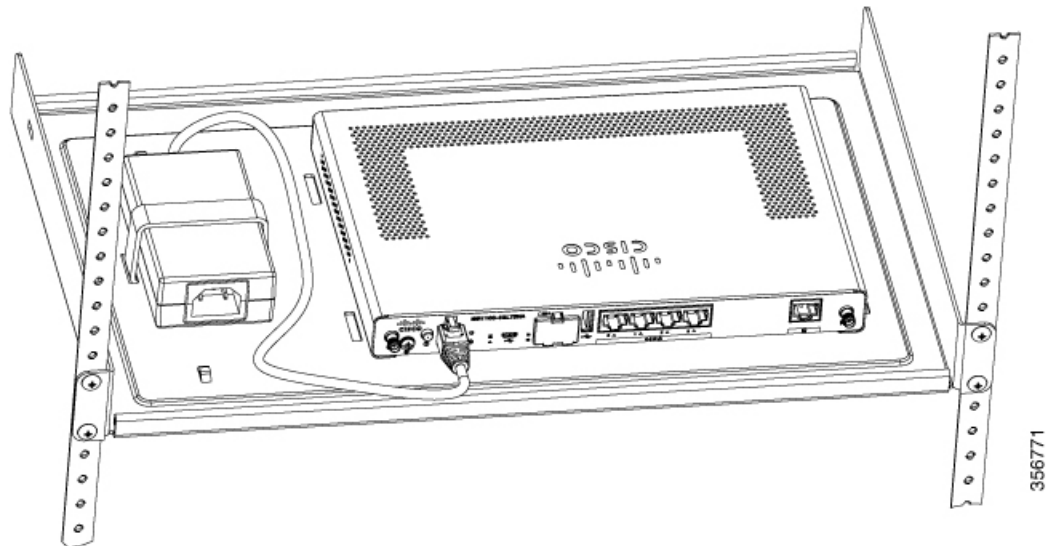


- (注) トレイとルータを設置するラックの位置の上下に機器が取り付けられているときは、トレイをラックに取り付ける前にルータをトレイに取り付けた方が容易な場合があります。これにより、ルータをトレイに配置したり、取り付けネジを挿入したりする場所に容易にアクセスできます。





3. 外部電源モジュールをラックトレイに配置し、ラックトレイに付属のストラップを使用して電源モジュールを固定します。



4. プラスチック製の結束バンドを使用して余分な長さの電源ケーブルを束ねます。トレイの左側（電源モジュールの位置の近く）にあるブリッジランス接続ポイントを1つを使用してケーブルをトレイに固定します。

## Cisco ISR 1100 および ISR 1100X シリーズ ルータ の接続

### シャーシのアース接続

安全性と電磁波干渉（EMI）の要件を満たし、Cisco ISR1100 および ISR1100X シリーズルータの適切な動作を確保するには、ルータを、電源を入れる前に信頼性の高いアースに接続します。

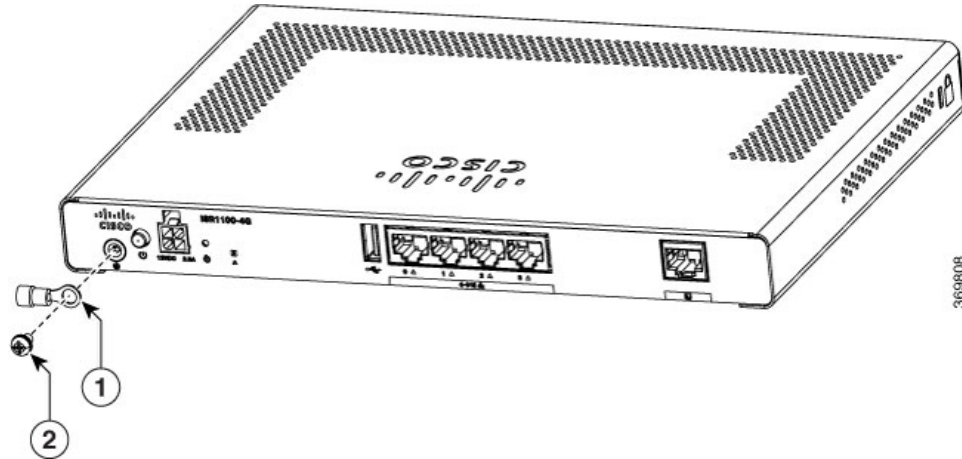


(注) 14 AWG 銅線とリング端子は、ユーザーが所有するものを使用してください。これらはアクセサリキットに含まれていません。

1. シャーシを接地する場合は、サイズ 14 AWG の銅線とリング端子を使用します。
2. アースラグまたはリング端子に必要な長さまでアース線の片端の被覆を取り除き、リング端子をケーブルに取り付けます。
3. 適切なサイズのクリンパを使用して、アース線をアースラグまたはリング端末に圧着します。
4. ケーブルが他のルータコンポーネントに触れたり、アクセスを妨げたりしないことを確認します。

- No.2 プラス (+) ドライバを使用して、ルータに付属の UNC 6-32 ネジでアースラグをルータに取り付けます。8.3 ~ 11.0 インチポンドのトルクで締めます。

図 2: Cisco ISR1100 および ISR1100X シリーズ モデルのシャーシの接地 (Cisco ISR1100-4G モデルの図)



1	アース ラグ
2	ネジ (UNC 6-32)

## 電源コードの接続

ルータを電源に接続する前に、次のものがあることを確認してください。

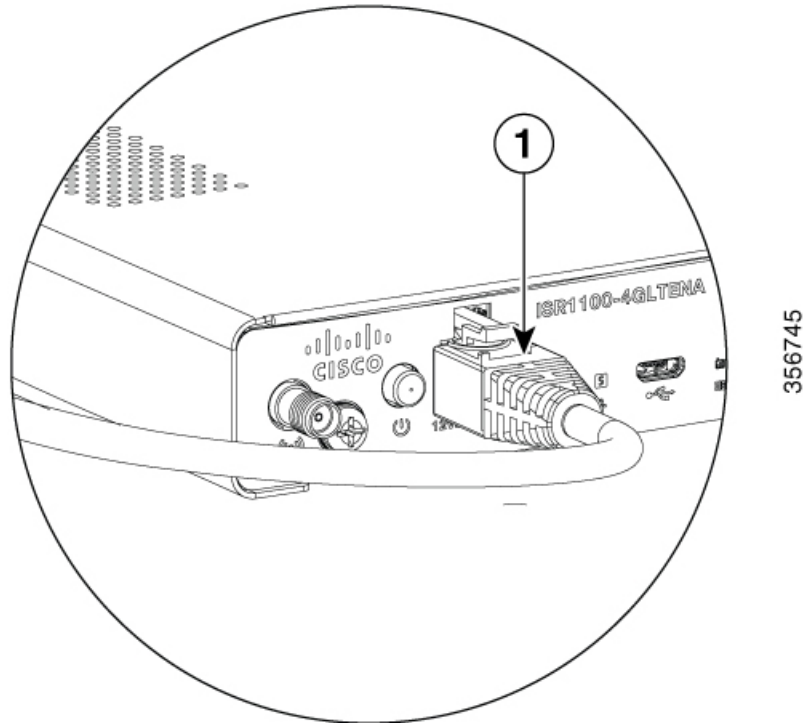
- ・ 静電放電 (静電気防止用) 接地ストラップ
- ・ 場所に適した電源コード

### AC 電源へのルータの接続

ルータに電源を入れる前に、まずルータがアースに接続されていることを確認します。次に、出力電源コードを前面パネルの 4 ピン電源コネクタに差し込みます。最後に、入力電源コードを AC 電源に接続します。

電源コネクタを取り外す場合は、コネクタの上部にあるラッチを押してソケットから外します。

図 3: 電源コネクタ



356745

	アイテム
1	電源コードのコネクタ

## コンソールへのルータの接続

管理コンソールを使用して、Cisco ISR1100 および ISR1100X シリーズ ルータを設定および管理できます。ルータを管理コンソールに接続するには、RJ-45 コネクタ付きのケーブルを受け入れるコンソールポートを使用します。

ルータをコンソールに接続するには、次の手順を実行します。

1. RJ-45 コネクタがあるコンソールケーブルの端を、ルータのコンソールポートに接続します。
2. DB-9 コネクタ（または USB タイプ A）があるケーブルの端を端末または PC に接続します。端末または PC に DB-9 コネクタに対応しないコンソールポートがある場合、そのポートに適切なアダプタを装着する必要があります。



**注意** Power over Ethernet (PoE) 対応ケーブルはコンソールポートを破損させる可能性があります。これらのケーブルを誤ってコンソールポートに接続しないでください。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。